

四国中央市教育委員会会議録

	<p>平成30年四国中央市教育委員会第11回定例会会議録</p>
日 時	平成30年11月26日（月） 午後 1 時30分～
場 所	四国中央市歴史考古博物館
委員定数	5 名
出席委員	教育長 伊藤 茂、委員 篠原 祥子、委員 鈴木 千明、委員 東 誠、委員 篠原 理
欠席委員	なし
会議に出席した 公務員の職氏名	<p>教育管理部長 石川 寿一、教育指導部長 眞鍋 葵、 教育総務課長 森実 啓典、学校教育課長 品川 弘樹、 生涯学習課長 窪田 壮哲、文化・スポーツ振興課長 石川 正広、 教育総務課長補佐 鈴木 崇士、教育総務課係長 井川 季代、 教育総務課主任 筱原 勇弥、教育総務課 大西 祐実、 教育総務課 松林 永子、教育総務課 戸田 浩史</p>
傍聴人	なし
日 程	<p>開会宣言 教育長挨拶</p> <p>日程第 1 平成30年第10回定例会会議録の承認 日程第 2 平成30年第11回定例会会議録署名人の指名 日程第 3 諸般の報告 教育長より諸般の報告 各課長より事務報告 日程第 4 その他 コミュニティ・スクール（CS）モデル校事業について 平成30年度教育委員会（平成29年度対象）の点検・評価報告書について</p>
会議の概要	<p>閉会宣言</p>
事務局	<p>開会 午後 1 時30分 定刻になったので、平成30年第11回定例会を開会する。 なお、教育委員全員の出席を得られているので、本定例会の成立を確認する。開会にあたり、教育長よりご挨拶をお願いする。</p>
伊藤教育長	<p>教育長挨拶 教育委員の皆様には、先般の視察研修大変お世話になった。今回は、京都市の嵯峨小学校、嵯峨中学校、御池中学校、この3校を中心に京都市における小中一貫教育やコミュニティ・スクールの取り組みについて研修をさせていただいた。授業参観や学校施設の見学、それぞれの校長先生には学校独自の取り組みなど、大変興味深いお話もお聞きすることができ、当市がこれから取り組むべき課題について、色々な方向からの研修ができた。大変内容の</p>

四国中央市教育委員会会議録

	<p>ある視察研修ができたのではないかと思う。教育委員の皆様には、ご感想やご意見などあれば、この後の協議の中でお話いただきたいと思うのでよろしく願います。</p> <p>本日は、歴史考古博物館での定例会開催である。当該施設は、川之江地区まちづくり計画に基づき、これまで整備を進めて今年8月に完成した。展示館と収蔵館、2つの施設に分かれており、展示館は、かわのえ高原ふるさと館を文化財や郷土資料の展示に特化した施設としてリニューアルを行い、収蔵館については、既存の考古資料館の老朽化や増え続ける出土資料の整理、収蔵機能を強化するために、かわのえ高原ふるさと館の敷地内に新たに建設したものである。この2つの施設を一体的に活用することで収蔵機能と展示機能の充実が図られ、四国中央市の歴史や文化を学び、発信する重要な拠点施設となるものと思う。本格的なオープンは、アルカリ性物質の枯らし期間として、最終の躯体コンクリート打設から開館までに二夏必要と言われていたことから2020年4月の予定としている。</p> <p>なお、本定例会の後、学芸員が館内をご案内するので、ゆっくりご覧いただきたいと思う。</p>
事務局	<p>これよりの議事進行については、教育長に願います。</p>
伊藤教育長	<p>会議録承認 会議録の承認について諮る。平成30年第10回定例会会議録案について、事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>平成30年第10回定例会会議録案の概要を説明する。</p>
伊藤教育長	<p>平成30年第10回定例会会議録案の承認について諮る。</p>
全委員	<p>承認する旨答える。</p>
伊藤教育長	<p>承認の旨確認し、平成30年第10回定例会会議録の原案を承認する旨宣する。既に指名の委員には、それぞれ後ほど会議録に署名を願う。</p>
伊藤教育長	<p>会議録署名委員の指名 平成30年第11回定例会会議録署名人に、篠原祥子委員、鈴木千明委員を指名する。</p>
伊藤教育長	<p>報告事項 諸般の報告については特別に私から申し上げることはなく、各課から報告の後ご審議いただきたい。 続いて、各課から事務報告を求める。</p>
森実教育総務課長	<p>教育総務課所管の教育総務・学校管理・学校施設に関し、資料に基づき事務報告する。 11/8 当初予算説明会が行われた。この中で市長より、予算編成についてはこれまで以上に厳しくなることが話され、そのあたりを踏まえた予算要望をとの説明があった。 11/13～15 先ほど教育長より説明があったが、教育長及び教育委員視察</p>

四国中央市教育委員会会議録

窪田生涯学習課長	<p>研修が京都市にて実施された。</p> <p>11/18 県知事選挙が行われ、中村時広県知事が再選された。</p> <p>11/26 本日、第11回の教育委員会定例会である。</p> <p>続いて、学校給食に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>11月から12月にかけて、各小学校において交流給食会を実施しているところである。地元の生産者、納入業者、調理員、学校給食係の担当等がそれぞれの小学校に赴き子どもたちと給食を通して交流を図るものである。</p> <p>生涯学習課所管の社会教育・人権教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>11/8 愛媛県人権・同和教育研究大会が松山市にて開催され、当市からは100名ほど参加している。三島南幼稚園とNPO法人ぶかぶかの実践報告があった。</p> <p>11/10 天満、蕪崎合同館（仮称：北地区交流センター）の蕪崎住民説明会を実施している。38名ほどの参加を得、色々と話し合いを行っている。</p> <p>11/14 市就学前人権・同和教育研究大会が三島幼稚園にて開催された。77名の参加があり、人と人をつなげようというテーマの下に研究協議が行われた。</p> <p>11/17 全国人権・同和教育研究大会が滋賀県にて開催された。当市からは、23名が参加し、三島南中学校中村先生の実践報告があった。</p> <p>11/21 東予地区人権・同和教育研究協議会が本年度、新居浜市にて開催され、当市からは、48名が参加している。</p> <p>11/26 本日の午前中に公民館長・主事会を開催している。市長との懇談会という形で公民館の在り方等についての協議が行われた。</p>
石川文化・スポーツ振興課長	<p>文化・スポーツ振興課所管の文化振興・スポーツ振興・図書館に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>11/1～11 市内各地域において文化祭が実施され、2,757名の来場があった。</p> <p>11/20～25 秋季県展四国中央市移動展が福社会館で開催され、1,353名の来場があった。昨年に比べ300名ほど多く来場いただいている。</p> <p>11/3 第13回スポーツアドベンチャー in 四国中央市が伊予三島運動公園にて開催され、442名の参加を得ている。</p> <p>各図書館においては、上映会やおはなし会等、ボランティアグループの協力をいただき様々な行事を実施している。</p> <p>暁雨館では、11/20に暁雨館大学を開催している。</p>
品川学校教育課長	<p>学校教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>11/1 市学校人権・同和教育研究大会が各会場校にて開催された。</p> <p>11/6、12 四国中央市立小中学校教育情報化推進委員会各部会が開催された。学校ICT環境を円滑に整備していくため、現場の先生方の生の声を伺っている。</p> <p>11/16 ものづくり体験講座発表会が三島西中学校にて開催された。</p> <p>11/23、24 小規模特認校申請者親子面談が保健センターにて行われた。引き続き、12/1、2にも実施予定である。申請いただいた27名の児童生徒及びその保護者の面談である。</p> <p>11/25 SIFA海外派遣事業の出発式が行われた。</p>

四国中央市教育委員会会議録

<p>伊藤教育長</p> <p>篠原理委員</p> <p>窪田生涯学習課長</p>	<p>続いて、少年育成センターに関し、資料に基づき事務報告する。 11/14 第2回中・高生徒指導連絡協議会が土居高校にて開催された。 各地区において冬休みに向け補導委員会等が、開催または開催予定である。</p> <p>只今の各報告について、意見質問等がないか問う。</p> <p>天満、蕪崎合同館の説明会の際、住民の反応はどうだったのか。</p>
<p>伊藤教育長</p> <p>伊藤教育長</p>	<p>1校区1公民館という方針に基づき公民館整備を行っているところであるが、現在、北小学校区に天満公民館と蕪崎公民館の2つの公民館がある。従前より本合同館の建設についての話は進められてきた。天満公民館については、耐震性がないため早急な建て替えが必要であるということで住民の方にご理解をいただいている。ただ、蕪崎公民館については、耐震性がありません。且つ天満公民館よりも10年ほど新しく引き続きの使用が可能である。故に合同館建設にあたっては反対意見もあった。そのような中、今回、初めて蕪崎住民説明会を開催させていただいた。説明会の中では、蕪崎公民館をこのまま残してほしいとの意見や防災上の観点から新しい公民館を望む声もあった。また、今回の情報が住民の方々に周知できていない状況も見られた。いずれにしても市の方針として合同館の建設を進めているので、再度、ご理解いただけるよう説明会を実施するというところで本会を終えている。</p> <p>他に意見質問等がないか問う。特になし旨確認し、その他に移る。</p> <p>その他 「コミュニティ・スクール(CS)モデル校事業について」の説明を事務局に求める。</p>
<p>品川学校教育課長</p>	<p>「コミュニティ・スクール(CS)モデル校事業について」を資料に基づき説明する。</p>
<p>伊藤教育長</p> <p>東委員</p>	<p>只今の説明について、意見質問等がないか問う。</p> <p>コミュニティ・スクールのモデル校になっている学校は全て、生涯学習課の方で進めている地域学校協働活動の対象校なのか。</p>
<p>窪田生涯学習課長</p>	<p>お見込みとおりである。</p>
<p>東委員</p>	<p>地域学校協働活動推進校は何校くらいあるのか。</p>
<p>窪田生涯学習課長</p>	<p>現在のところ13校ほどである。</p>
<p>伊藤教育長</p>	<p>今後、モデル校の運営にあたり規則等を作成する必要があると思うが、どのように考えられているのか。</p>
<p>品川学校教育課長</p>	<p>学校運営協議会委員が決まった段階で審議いただくこととなる。ただし、規則については、市の方針を大きく外れることはない。また、教育委員会の</p>

四国中央市教育委員会会議録

	規則については、既に案を練ってあるのでそれを各校に示し検討いただくことになる。
東委員	学校関係者評価委員会と学校運営協議会がどのように違うのか。また、何を目指してどのようにしたいのかということを委員の皆様にも重く受け止めていただく必要がある。そのような場を設ける計画等はあるのか。
品川学校教育課長	関係者を一同に集め趣旨や進め方、先進事例等を示し協議いただける場を設ける予定としている。
篠原祥子委員	「学校評議員は、学校運営協議会の委員を任命された時点で、学校評議員でなくなる」とあるが、どのような意味か。
品川学校教育課長	学校運営協議会制度を導入した場合、学校評議員制度はなくなるという意味である。
東委員	先ほどお話しいただいた研修の場を設ける際、私どもも参加させていただいてもよいか。
品川学校教育課長	参加いただければと思う。
鈴木委員	この制度を導入する理由として、今ある運営組織では不足がありそれを補うためなのか。
品川学校教育課長	学校運営に協力するという意味では、現状と変わらない。ただし、今の状況は、協力体制全体としてのビジョンが共有されていない。これまで個々に学校運営にご協力いただいていたが、地域としてビジョンを共有できることが大きなメリットである。
鈴木委員	各団体に上位下位はないと思うが、学校運営協議会は学校運営やコミュニティの最高機関となるのか。
品川学校教育課長	どの団体が上位下位であると単純に位置付けすることは難しい。扱う内容によってもその状況は異なることが考えられる。
鈴木委員	これまで校長先生が学校方針、ランドデザインを定めて各団体に了承を得ていくという形であったが、コミュニティのスクールということであれば、校長先生も含めた学校運営協議会となるかと思う。
品川学校教育課長	これまでも、地域のご意見を反映したランドデザインが作成されてきたが、学校運営協議会によりランドデザイン作成前に色々と協議されることになるかと思う。
伊藤教育長	学校現場の当事者にとって学校運営協議会制度をどのように思われるか。
品川学校教育課長	そのような地盤が元々ある地域では、非常に有効であると思う。そのような地盤がないところでは、少し時間を要することが考えられるが、現状と大

四国中央市教育委員会会議録

伊藤教育長	<p>きく変わる訳ではないので負担とは感じていない。</p> <p>建設的な意見を述べていただける地域はよいが、この制度について地域の方にご理解をいただかなければならない。そうしなければ組織だけできたが・・・、ということになりかねない。</p>
東委員	<p>学校運営協議会委員は大きな役割を担うことになる。故に守秘義務もしっかり守っていただく必要がある。それを踏まえて学校側も抱えている問題や色々な状況を提供いただければ、学校運営協議会で解決策が協議でき、よりよい学校づくりを推進できるのではと思う。</p>
鈴木委員	<p>学校運営協議会制度が導入された学校に、他市から校長先生が来られる場合、校長先生がなかなか意見を言えない地域主導の学校になってしまうことも懸念される。</p>
品川学校教育課長	<p>そのことを勘案し、委員任期を設けるなど硬直を防ぐことを盛り込むことで考えている。他市から来られる校長先生については、意見を述べづらいというデメリットはある。ただ、既に学校運営協議会制度が導入されていれば、地域の状況をすぐに知ることができるというメリットもある。また、地域コーディネーターの協力も得、会が円滑に進むように考えている。</p>
伊藤教育長	<p>他に意見質問等ないか問う。</p> <p>今後もこの案件を進めていく中で、教育委員の皆様のご協力をお願いする。</p> <p>他に意見質問等ない旨確認し続いて、「平成30年度教育委員会（平成29年度対象）の点検・評価報告書について」の説明を事務局に求める。</p>
森実教育総務課長	<p>「平成30年度教育委員会（平成29年度対象）の点検・評価報告書について」を資料に基づき説明する。</p> <p>本日のご報告、ご承認をもって12月市議会に提出させていただくとともに教育委員会のホームページに掲載する予定である。</p> <p>なお、外部評価委員会委員より意見及び改善すべき点について、別添の資料にまとめている。主な意見及び改善すべき点の概要と、教育委員会としての対応の方向性を各所管の課長より報告する。</p>
各課長	<p>重要施策番号順に各課長より意見・要望への対応方針の説明を行う。</p>
伊藤教育長	<p>只今の説明について、意見質問等がないか問う。</p> <p>外部評価委員会の中でもご意見があったが、この点検・評価報告書については前年度の評価ということで次年度に反映するには遅すぎる。できるだけ早い時期に点検・評価報告書ができるように、事務局サイドで配慮いただければと思う。</p> <p>他に意見質問等ないか問う。</p>
鈴木委員	<p>成人式が1か所開催となった場合、運営方法は変わらないのか。</p>
窪田生涯学習課長	<p>1か所開催となった場合、地域に応じた催しを行うことは難しいが、概ね</p>

四国中央市教育委員会会議録

鈴木委員	<p>現行の運営方法に変更はない。</p> <p>他市では、若者たちで実行委員会をつくり運営を行っているケースもあるようだ。</p>
窪田生涯学習課長	<p>当市では、そのような運営方法を考えていないが、今後よい方法等あれば取り入れていきたい。</p>
伊藤教育長	<p>民法改正で18歳成人となっても20歳で成人式を行う市もあるようだ。そのあたりについても協議の必要性が生じると思う。</p> <p>他に意見質問等ないか問う。他に意見質問等ない旨確認し続いて、「四国中央市歴史考古博物館 - 高原ミュージアム - 」の概要説明を事務局に求める。</p>
石川文化・スポーツ振興課長	<p>「四国中央市歴史考古博物館 - 高原ミュージアム - 」について資料に基づき事業目的、事業概要、施設概要、今後に関して説明する。</p>
伊藤教育長	<p>只今の説明について、意見質問等がないか問う。特に意見質問等ない旨確認し続いて、「総合教育会議について」報告させていただく。</p> <p>先に平成30年度の総合教育会議について教育委員会事務局の提案を挙げさせていただき、総務調整課にて協議いただいている。その中で、気軽に話せる懇談会形式を提案していたが、総合教育会議については現状の会議の形で進めたいとのことであった。また、年明けの1月か2月に総合教育会議を開催したいとのことであった。テーマについては、形骸化したものではなく広い意味での教育課題を考えたい。故に、教育委員の皆様におかれてもよいテーマがあればご意見いただきたい。</p> <p>その他案件として報告事項等ないか問う。</p>
森実教育総務課長	<p>次回定例会の招集を願う発言。</p>
伊藤教育長	<p>次回、教育委員会第12回定例会を平成30年12月25日（火曜日）午後1時30分から、市庁4階401会議室に召集する。</p> <p>その他に報告等ないか問い、報告意見等ない旨確認する。</p>
伊藤教育長	<p>閉会</p> <p>午後2時57分、閉会を宣する。</p>

四国中央市教育委員会会議録

以上、会議の顛末を記録し、その真正であることを認め、署名する。

教育委員会会議録署名人

四国中央市教育委員会 委員

四国中央市教育委員会 委員

会議録作成者 教育総務課 鈴木 崇士